

## 認知症に関する企業向け研修会を開催しました

高齢化の進展に伴い、団塊の世代が75歳以上となる令和7年には、山形県の認知症の人は約4万8千人、軽度認知障害の人は約5万5千人となる見込みとなっており、高齢者の約3人に1人は認知症又はその予備群とされる状況です。

県では、山形県地域包括支援センター等協議会へ委託し、共生社会の実現を推進するための認知症基本法の基本的な枠組みや実際の運用例、最新の研究結果を知り、認知症に関する理解を深めるため、企業等を対象とした研修会を2月6日（木）に開催しました。

初めに、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター認知症未来社会創造センター長の栗田主一氏より、「認知症基本法について理解を深める～だれもが生き活きと働ける山形をめざして～」と題し、基本法制定までの経緯や認知症施策推進基本計画策定における議論点や計画上の記載について基調講演をいただきました。続いて、公益社団法人認知症の人と家族の会山形世話人代表の五十嵐元徳氏より、山形県内における認知症をとりまく現状について報告をいただきました。研修会を通じて、認知症になってからも働き続けることができる社会にするため、新しい認知症観など、認知症について理解することが重要であると改めて実感しました。

今年の1月で基本法が施行されて1年が経過しました。認知症は誰もがなりうるものです。「他人事」ではなく「わがこと」として考え、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として暮らしていくことができる社会の実現に向け、認知症について考えていきましょう。



## さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

### 認知症カフェ運営者情報交換オンライン会議（全体会）を開催しました

1月16日（木）に県内の認知症カフェ運営に携わる方々68名の参加によるオンライン情報交換会が行われました。

すでに県内4地区で開催された情報交換会において、「あなたが考える共生社会について」、「多様な方を受け入れる際の工夫と苦労」に関しての個人ワークやグループワークを通じて熱心な話し合いを行っていましたが、オンライン全体会では、それぞれの地区ごとの開催時の状況についての報告が行われました。

その後事例発表として米沢市高齢福祉課地域包括支援担当の梅津様、山口様による「当事者本人主催のカフェの取り組み」として、当事者ご夫婦との出会い、仙台市オレンジドアの見学、会場としての大学との協力などを経た「おれんじドア米沢」の立ち上げに至るまでのお話をいただきました。

その後の情報共有では、認知症カフェに来られる方は予防を目的にしている方が多い傾向があるが、カフェには様々なスタイルがあり、今、元気な方でも誰が認知症になってもおかしくない時代なので、その後も通い続けることができるカフェであることの大切さや、当事者が描く認知症カフェを理解し、ご本人やその家族の思いを優先することで居心地のいいカフェを立ち上げられたことなどが話し合われました。



**みんなの力は地域の力！**

特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミルでは、山形県における NPO 活動の推進に寄与し、広く地域や分野を超えた NPO 活動の基盤強化、企業や行政との協働を促進し、市民社会の発展に貢献することを目的として活動しています。

また、当法人が指定管理を受けている「山形市市民活動支援センター」は、様々な分野の市民活動や NPO、ボランティアなど公益的な活動をしている人たちが、これから始めようとしている人たちのための施設です。山形市の市民活動が活発になるような支援を行うことを目的として以下の活動を行っています。

●設立運営相談

NPO の設立や運営、また、会計や事務処理など、幅広い相談に対応しています。特に NPO 法人は広く社会への情報公開義務があります。それに伴う活動報告や決算書の作成などが毎年必要となります。困った時は私たちが丁寧にアドバイスします。

●多様な担い手の連携・協働促進

異なる分野の NPO や企業、行政、教育機関などとの橋渡しをします。

●研修・講座

「NPO ってなに？」という入門的な内容から、NPO 法人の設立や運営、解散といった内容の講座を開催しています。

また、2016 年から、東日本大震災により福島県から避難している方への支援を行っており、山形県内では、現在も約 1,100 名の方が避難生活を送っています。戸別訪問、交流会、福島県や山形県の情報提供など、避難してきた方が少しでも山形県内で安心して生活ができ、また福島県に帰還する際のお手伝いをしています。

2021 年からは、困難を抱えている女性への支援を行っている団体のサポートを行っています。山形県内の 4 地域に団体を配置し、生理用品の無償配布や孤独孤立防止のための居場所の提供を行っています。また、山形県が行っている社会貢献基金事業の実施団体へのサポートも行っており、社会貢献を応援しています。

当法人では、地域からの信頼を得ながら、自立した市民活動の発展に向けて、山形の NPO 活動がもっと元気になることを目的に今後も活動を続けます。

交流会で作成したジェルキャンドル



特定非営利活動法人  
山形の公益活動を応援する会・アミル  
佐藤 正子

インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

オレンジ・ランプ上映会の

お知らせ

- ◆ 3月22日（土）
- ◆ 山辺町立山辺中学校
- ◆ 10時と12時30分
- ◆ 問い合わせ先  
山辺町保健福祉課  
電話 023-667-1107  
(今年度県内最終上映)

～当事者とそのご家族のためのつどいの場～

おれんじドア米沢

- 日程：令和7年3月28日（金）  
(4月以降毎月第4金曜日)
- 時間：14時から16時（出入り自由）
- 対象：認知症と診断を受けた本人と家族
- 場所：米沢栄養大学 1F テラス  
米沢市通町6-15-1
- 費用：無料

認知症と診断を受けて、糖尿病にもなっているのにこれからどうなるのだろうと不安で仕方なかった時、私を前向きにさせてくれたのは、私より先に診断を受け、その不安を乗り越えて頑張っているたくさんの人たちの勇気と元気と温かい笑顔との出会いでした。(主催者のことば)

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)  
電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼12時～午後4時  
TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp  
皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。